

くらしき心ほっとサポートー 活躍しています!!

粒江学区くらしき心ほっとサポートー 1期生 小川瑞江 藤岡晴美
3期生 三宅孝子
6期生 亀岡教子

くらしき心ほっとサポートーは、精神障がいに対する偏見除去や心の健康づくりの推進を目指して、地域人の啓発活動を行っています。社会資源や組織を活用したネットワークづくりやサポートーを中心とした地域住民の参画による交流の場づくりなどの取り組みを行っています。

くらしき心ほっとサポートーは、こんな活動をしています!

- こころの健康づくり講座の開催
- 自殺予防街頭キャンペーン
- 作業所等で当事者との交流
- 各学区ミニ健康展・地域のまつり等での啓発 等



「こころの健康づくり講座 in 茶屋町公民館」を開催します

粒江・茶屋町・帯江・豊洲・天城の5学区区合同で開催します。地域で訪問診療をされている亀山先生のお話を聞きながら、精神障がいの理解者を地域で増やせるような企画をしています。たくさんのご参加お待ちしています。

日時 11月28日(火)13:30~15:30
場所 茶屋町公民館(倉敷市茶屋町1604-4)
内容 講演「心の健康について～地域で支え合うために～」(仮)質問コーナー
講師 茶屋町住宅診療所 亀山有香先生
申し込み先 倉敷保健推進室 ☎086-434-9822
申し込み締め切り 11月15日(水)

オレンジカフェ この秋OPEN予定!

オレンジカフェ?みかんでも食べられる喫茶店か?と思われたあなた、少し違えます。お茶を飲みながらくつろいだりおしゃべりをする場所ですが、みかんを食べるわけではありません(食べてもいいですが)。認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるための一助として、国はオレンジカフェを推進しています。認知症初期の方やそのご家族を対象にしており、同じ境遇の人と交流をもったり、情報交換をしたり、心穏やかに過ごしていただくことが目的です。認知症のシンボルカラーがオレンジなので、そういった場をオレンジカフェと呼びます。



11月頃から粒江にあるうきうき館で、「うきうきオレンジカフェ」をOPENしよう、目下準備中です。月2回ほど、お茶を飲んだりお昼ご飯を一緒に食べたりしながら、認知症の方への対応を理解したスタッフが常駐し、楽しく心休まる場所にしていきたいと考えています。「もの忘れは自覚しているが、それ以外は普通だ」と思っているのにサービスなどは行きたくない」「認知症初期と診断されたから人と付き合うことが減った」など、認知症の症状がはじめ不安を感じられている方に来てほしいと思っています。行ってみたいという方は、お近くの民生委員さん、愛育委員さん、高齢者支援センターにお声かけください。

地域の高齢者の方についての相談はこちらへ
(倉敷市委託事業) 倉敷市高齢者支援センター
 倉敷市粒江2500-1 (浮洲園内)
 電話 086-420-1355



お問い合わせや詳しいことは、下記までお電話下さい。

高齢者総合福祉施設 浮洲園 UKISUEN
 社会福祉法人 純晴会
 理事長 岡本康晴

- 施設概要
- ◆特別養老老人ホーム (短期入所事業)
- ◆デイサービスセンター
- ◆グループホーム
- ◆ショートステイ (短期入所事業)
- ◆ケアハウス (軽養老人ホーム)
- ◆在宅介護事業 (ケアプラン作成)
- ◆倉敷市委託事業 (倉敷市委託事業)

710-0034 倉敷市粒江2500-1
TEL(086)429-3311
 FAX(086)429-3314
 ホームページhttp://www.ukisuen.com

民生委員制度創設100周年を迎えて

粒江民生委員児童委員 荒木 正裕

民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「済世顧問制度」に始まり、以来、100年にわたり、民生委員児童委員(民生委員)は地域の見守り、住民の身近な相談相手として地域づくりに取り組んできました。また、主任児童委員制度も創設70周年となります。

私の活動は、担当する7支部の約300軒を回って、お問い合わせなどがあれば関係機関に適切に橋渡しをすることです。民生委員は、守秘義務が課せられており、お聞きした内容は、個人情報保護の観点からも適切に取り扱うように日頃から注意を払っているところです。

民生委員になって最初に手掛けたことは、自分の担当する区域の状況等について、自分の足で確かめながら自分なりの訪問メモ等を作成し、次回訪問に役立てるようになっているとことです。一人暮らしの高齢者のお宅を訪問することもありますが、「私は、そんなに高齢者ではないので来ないでくれ」と言われることもあります。少し間をおいて、笑顔で訪問して近況などをお聞きするようにしています。

私の家庭は夫婦二人暮らしです。かみさんからは、「落ちこぼれの民生委員どこへ行くの?」って言われます。「ちよっと近所に健康管理を兼ねて散歩」と答えます。近所で聞いた話は家庭ではしたことが無いので、かみさんからは、落ちこぼれの民生委員と呼ばれています。明日は我が身かなって思っているから出来る事を出来る時に、無理がないように地道にしていきたいと思っています。

民生委員制度の発祥の地で活動できることを誇らしく思いながら、笑顔に出会えることを楽しみに、また、袖すり合うた縁を大切に、皆様方の末席に居し活動できれば幸いです。

倉敷支援学校のボランティアに参加して

粒江学区愛育委員会 副会長 藤岡 晴美

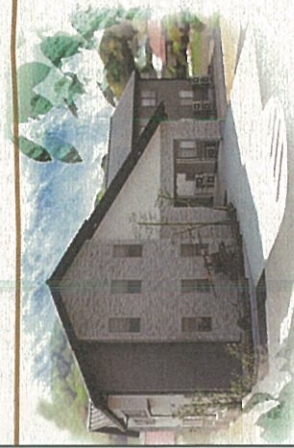
平成26年10月、支援学校の児童、生徒達が「生きる“力”」を育むためには学校だけでなく、地域の人達と連携しながら、お互い理解をし合うことが必要ではないか...。という思いで支援学校より粒江学区の民生委員さん、児童委員さん、愛育委員の方へボランティアの要請がありました。



愛育では、有志5名がボランティアに参加しています。お手伝いの内容は、まず生徒さんが布を細く裂いて繋ぎ、それを横糸にして20センチ前後の幅で「さき織」を作ります。私達は生徒さんが一生懸命に織り上げた「さき織」をいろいろと配置して、バッグやストラップを作ります。出来上がった製品は市役所ロビー、ライフパーク、また学校内での友愛セール、そして毎年12月に行われる「粒江ふれあいフェア」等で、生徒さん達が販売されます。販売現場へ行かれたメンバーは生徒さんが、大きな声で一生懸命販売されているのを見て、涙が出た...と話されました。私達の製品が不評だったら...と心配でしたが、先生に「いつも完売です」と言っていたとき「ホッ」としています。



微力ではない5名で、どんなお手伝いができるか不安でしたが先生の「いつも完売です」の一言に支えられ、支援学校の先生、生徒さん達の一助になればと、これからも心を込めて、良い物を作り頑張っていきたいと思います。



グループホーム

もえ 萌

あなただの ふるさと

指定認知症対応型
共同生活介護事業所

TEL(086)424-1165 FAX(086)426-6505
 (URL) http://www.moe2003.net (E-mail) info@moe2003.net
 〒710-0035 岡山県倉敷市黒石 377-1